

暮らしと
住まいの
セミナー
彩工房の



たき火を囲んで

薪割り大会

12月1日(日) 10:30-15:00

会場 彩工房 笠取工作所

主催 株彩工房



彩工房では、「暮らしと住まい」をテーマに、日常を豊かにするさまざまな催しを行っています。
12月は、恒例の薪割り大会を開催します。

暖かい炎を眺めていると、時間が経つのを忘れるものです。
こうばしいたき火の匂い、澄んだ森の空気、寒い冬もやっぱり外は気持ちがいい。
枝葉や木くずで遊んだり、木を伐って、割って、一日木こりになったような体験をしてみませんか。
ツタや木の実のリース作りや、しいたけの菌打ちなども実施します。

リンゴやお芋は、焚火で焼きましょう。ご飯はお釜で炊きましょう。温かい豚汁もご用意しています。

会場は、豊かな森の中に佇む工作所です。
山から伐り出された木が職人さんたちにより乾燥・製材され、
強く美しい木組みが生まれていく過程を見ることができます。
木の匂いがいっぱいです。ぜひ覗いてみてください。

薪ストーブって、暖かいの？やっぱり手間がかかる？薪はどうやって集めてる？
といった薪ストーブに関するよもやま話もしていただけます。
薪ストーブをお持ちの方も、たき火が好きな方も、木が好きな方も、ぜひお集まりください。
思い思いに冬の日を楽しみましょう。

木を燃やす

火が燃えだすと、その場の空気が変わる。そう感じるのは 生き物の本能でしょうか。

子どもは火遊びが大好き。大人もなかなか火のそばを離れられません。くべた木が、だんだんと燃えていく様子に見入ってしまいます。

体の中からじわじわ暖まってきて、なんとも心地よい。少し気まずい人との間にも火があると、なかなか居心地がよくなったりするから不思議です。

おじいさんおばあさんが子どもだったころ、森で木を拾って運んでくるのも、燃やしてお風呂を焚くのも、子どもの仕事だったとか。

もちろん火傷をします。掃除もついて回ります。

それでも火がもたらしてくれる楽しさ、美味しさ、ほっとする感じ。そんな感覚は、もっと大切なものなのかもしれません。

木が燃えて残るのは、灰。灰は畑の栄養となります。木を伐り出した森。そこには新たな木が芽吹きます。

便利な電気やガスが広まって、私たちも、子どもたちも、森に入らなくなりました。

遠い国から燃料を買ってくるよりも、近くの森の木を燃やして暖まることは、案外賢い選択なのかもしれません。



たき火を囲んで薪割り大会

2024年12月1日(日) 10:30-15:00 *雨天決行

■会場 彩工房 笠取工作所

〒601-1393京都市宇治市二尾膳前谷9-1
・京滋バイパス笠取IC、南郷ICから共に5分
・各インターより滋賀県道・京都府道3号(宇治川ライン)を宇治方面へ、
乗馬クラブ(カシオペアライディングパーク)入口を右折すぐ

■参加費 1,000円/名 (乳幼児無料)

*お椀、お皿、お箸、コップなどの食器を持参された方は、参加費から100円引き致します。
*ご飯、豚汁、スタッフ手製のダッチオープン料理等のお昼、おやつ、保険代を含みます。
*別途お持ち帰りメニュー...薪一束:100円/しいたけ原木一本:1,200円

■定員 30名

お申込み・お問合わせ ▶▶▶

<http://www.saikobo.co.jp>

彩工房ホームページのイベント申込みフォームにて、参加される方全員のお名前とご連絡先をお伝えください。11月18日(月)から受付を開始します。



Fable



Sai GALLERY



山科区四ノ宮にある彩工房のイベントスペース。ヨガ教室やマルシェなど暮らしのイベントを随時開催中。



彩工房

info@saikobo.co.jp

tel:075-632-9889

京都市山科区四ノ宮大將軍町 15

よい家をつくる。